



子育て絵本トーク

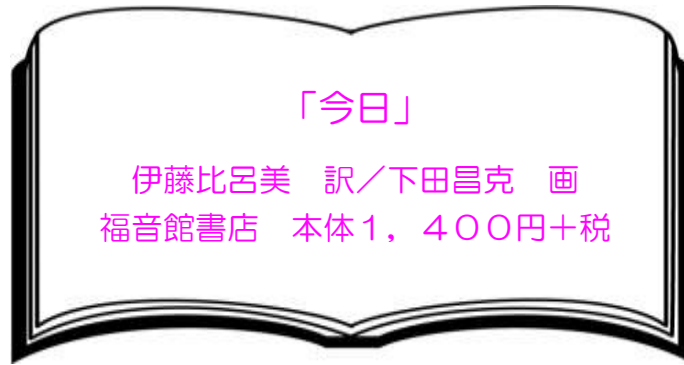


皆様、お変わりございませんか？先の見えない毎日を過ごされておられることと思います。
天使幼稚園は、自粛してお休みされている子ども達、お仕事を続けているご家庭の子ども達、様々な環境の中で、
大人も子どもも、みんな頑張っていることを痛感する毎日が続いています。
緊急事態宣言が解除され、少しずつ日常が戻ってきていることも感じている方も多いと思います。

先日、万葉歌を研究されている方から、お手紙が届きました。

今、「ステイホーム」と言われている中で「思いがけない時間」を過ごす幸いを綴られていました。
ずっと感じていた私の心の中のわだかまりが、ずっと消えてさわやかな風が吹き抜けていく、言葉のすばらしさに
脱帽いたしました。

いつかお母様方にご紹介したいと考えていた一冊を、今ここで載せてみたいと思います。



ニュージーランドの子育て支援施設に伝わる詩です。

作者不詳のまま、英語圏に伝わった詩を、詩人の伊藤比呂美さんが、日本語訳したものです。
子どもの世話で大わらわの毎日で余裕をなくしているお母さんの心に、たびたび打ち寄せるのは、自己嫌悪の嵐。
ところが、魔法にかけられたかのように、「たしかに、色々完璧にはできてよいかもしれないね。」とことばが、
心を包み込んであたためてくれます。
「でも、今、かけがえのないこの子をいつくしんでやれるなら、それで大丈夫なんだよ。」と、ことばは、
疲れたお母さんの心を包み込んでくれます。
ロコミで世界中に広がった一冊です。パソコンやスマートフォンでは味わえない素朴な絵が、そっと描かれているのも、
魅力的です。ぜひ手に取って頂きたい1冊です。

世界中の子育て真っ最中のお母さんへ、みんながんばっていますよ。

自分を責めないでください。

だいじょうぶです。

子どもの笑顔が、答えてくれています。

子どもと「思いがけない時間」を大切にしましょう。

と、私もささやかですが、エールを送りたいです。

天使幼稚園 園長 大槻いずみ